

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 マナック株式会社

上場取引所 東

コード番号 4364 URL <http://www.manac-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉之原 祥二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 岡本 道俊

TEL 084-954-3330

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	6,119	—	△109	—	△32	—	△9	—
21年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△1.23	—
21年3月期第3四半期	—	—

(注) 第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	12,221	8,183	67.0	1,018.40
21年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,183百万円 21年3月期 一百万円

(注) 第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前期の数値については、記載しておりません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	2.50	7.50
22年3月期	—	2.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	—	60	—	110	—	50	—	6.22

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注) 第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については、記載しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 2社 (社名 八幸通商株式会社、南京八幸薬業) 除外 1社 (社名 科技有限公司)

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 8,625,000株 21年3月期 8,625,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 589,589株 21年3月期 589,137株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 8,035,503株 21年3月期第3四半期 8,195,002株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
2. 平成21年4月1日付で八幸通商株式会社を完全子会社化したことに伴い、平成22年3月期第1四半期決算より連結決算に移行しております。
3. 南京八幸薬業科技有限公司は八幸通商株式会社の100%子会社であります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米欧経済の回復が遅れているものの、新興国経済の成長に牽引され、景況感は回復傾向にありますが、設備投資の低迷、雇用情勢の悪化に伴う個人消費の冷え込みに加え、デフレの進行により景気の先行きに停滞感が強まる等、企業を取巻く経営環境は依然として厳しい状況が続きました。

化学業界におきましても、夏以降は国内外の財政出動に伴う景気刺激策の効果により、需要は一定の回復傾向にありましたが、原油価格の再上昇、為替相場では円の独歩高が続き、生産の本格的な回復までに至っておらず、厳しい生産・販売環境が続き、収益状況は低調に推移しています。

このような経済環境にあつて当グループは、顧客ニーズに基づいた新しいマーケットの開拓及び新技術、新製品の開発に注力し、また、徹底したコスト削減を図ってまいりましたが、依然として厳しい経営環境が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当グループの売上高は6,119百万円、利益面におきましては、営業損益は109百万円の損失、経常損益は32百万円の損失、四半期純損益は9百万円の損失となりました。

なお、当グループは第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期比較は行っておりません。

事業の種類別セグメントの業績の概要は以下のとおりであります。

① ファインケミカル事業

ファインケミカル事業全体としては、依然として回復基調には至っておらず、厳しい状況下ではありますが、一部の分野においては回復の兆しが見え始めたところであります。

電子材料については、半導体、電子・精密機器等のハイテク分野に使用される材料は、各ユーザーでの在庫調整等から全体的な調整が進み、需要は回復しつつあります。

医薬関連については、今回の不況に大きく左右されることなく、順調に推移しました。

その結果、ファインケミカル事業としての売上高は3,251百万円、営業利益は214百万円となりました。

② 難燃剤事業

大幅な需要減退から一部、家電・IT産業の回復の兆しに連動して樹脂業界も在庫調整、生産調整が実施され、また、主力製品であるプラスチック用難燃剤も、在庫調整が進み回復傾向にあります。

その結果、難燃剤事業としての売上高は1,820百万円、営業利益は136百万円となりました。

③ ヘルスサポート事業

既存の試薬用途の需要については堅調に推移したものの、医薬用途の需要は横ばいに推移しました。

その結果、ヘルスサポート事業としての売上高は1,047百万円、営業利益は135百万円となりました。

なお、当グループは、第1四半期連結会計期間より事業の種類別セグメント情報を作成しておりますので、前年同期比較は行っておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、12,221百万円となりました。そのうち流動資産は7,571百万円、固定資産は4,649百万円となりました。負債につきましては、4,038百万円となりました。そのうち流動負債は2,915百万円、固定負債は1,122百万円となりました。純資産につきましては、8,183百万円となり、自己資本比率は67.0%となりました。

なお、当グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末との対比の記載は行っておりません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、363百万円の収入となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純損益は赤字であったものの、減価償却費の計上や仕入債務が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、54百万円の支出となりました。

これは主として、医薬品倉庫等有形固定資産の取得に伴う支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、247百万円の収入となりました。
これは主として、新たに借入をおこなったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当グループは当連結会計年度より連結決算に移行しております。

通期の連結業績予想につきましては、平成21年8月7日に発表いたしました「連結業績の見通しに関するお知らせ」に変更はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は平成21年4月1日付で八幸通商株式会社を完全子会社としており、その100%子会社である南京八幸薬業科技有限公司とともに、第1四半期連結会計期間より連結決算の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間末
 (平成21年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	691,276
受取手形及び売掛金	2,665,893
有価証券	1,280,902
金銭の信託	600,000
商品及び製品	1,165,865
仕掛品	429,174
原材料及び貯蔵品	507,459
繰延税金資産	90,570
その他	142,917
貸倒引当金	△2,393
流動資産合計	7,571,667
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	1,186,351
機械装置及び運搬具(純額)	821,717
土地	1,156,952
建設仮勘定	84,779
その他(純額)	92,999
有形固定資産合計	3,342,800
無形固定資産	6,010
投資その他の資産	
投資有価証券	851,309
関係会社長期貸付金	116,300
繰延税金資産	122,353
その他	211,737
貸倒引当金	△600
投資その他の資産合計	1,301,100
固定資産合計	4,649,911
資産合計	12,221,578

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年12月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,242,122
短期借入金	1,179,211
未払法人税等	13,847
賞与引当金	49,082
その他	431,183
流動負債合計	2,915,448
固定負債	
長期借入金	577,292
退職給付引当金	218,928
役員退職慰労引当金	55,329
負ののれん	172,304
その他	99,036
固定負債合計	1,122,890
負債合計	4,038,339
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,757,500
資本剰余金	1,947,850
利益剰余金	4,754,300
自己株式	△243,238
株主資本合計	8,216,411
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△2,524
為替換算調整勘定	△30,648
評価・換算差額等合計	△33,172
純資産合計	8,183,239
負債純資産合計	12,221,578

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	6,119,946
売上原価	5,080,901
売上総利益	1,039,045
販売費及び一般管理費	1,148,369
営業損失(△)	△109,323
営業外収益	
受取利息	5,195
受取配当金	14,489
有価証券売却益	1,088
負ののれん償却額	30,406
受取ロイヤリティー	30,094
助成金収入	15,203
その他	18,908
営業外収益合計	115,385
営業外費用	
支払利息	22,428
為替差損	10,592
その他	5,247
営業外費用合計	38,268
経常損失(△)	△32,205
特別利益	
前期損益修正益	12,636
固定資産売却益	21
投資有価証券売却益	5,499
その他	1,022
特別利益合計	19,179
特別損失	
固定資産処分損	5,268
固定資産売却損	1,402
投資有価証券評価損	3,018
ゴルフ会員権評価損	648
その他	600
特別損失合計	10,937
税金等調整前四半期純損失(△)	△23,964
法人税、住民税及び事業税	8,967
法人税等調整額	△23,042
法人税等合計	△14,074
四半期純損失(△)	△9,889

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△23,964
減価償却費	371,627
負ののれん償却額	△30,406
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9,100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,930
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,736
受取利息及び受取配当金	△19,684
支払利息	22,428
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,499
有形固定資産売却損益(△は益)	6,649
売上債権の増減額(△は増加)	△227,806
たな卸資産の増減額(△は増加)	△37,091
仕入債務の増減額(△は減少)	426,712
その他	△55,119
小計	385,552
利息及び配当金の受取額	19,677
利息の支払額	△22,437
法人税等の支払額	△19,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,055
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△126,335
定期預金の払戻による収入	114,828
有形固定資産の取得による支出	△285,823
投資有価証券の取得による支出	△26,044
投資有価証券の売却による収入	38,719
子会社株式の取得による収入	225,440
長期貸付金の回収による収入	3,100
その他	1,777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,337
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	145,618
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△157,716
自己株式の取得による支出	△176
配当金の支払額	△40,178
財務活動によるキャッシュ・フロー	247,547
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	556,265
現金及び現金同等物の期首残高	1,877,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,433,762

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	ファインケミカル事業 (千円)	難燃剤事業 (千円)	ヘルスサポート事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,251,295	1,820,751	1,047,900	6,119,946	—	6,119,946
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	3,251,295	1,820,751	1,047,900	6,119,946	(—)	6,119,946
営業利益又は営業損失(△)	214,635	136,111	135,529	486,276	(595,599)	△109,323

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
ファインケミカル事業	電子材料及び医薬品とそれらの中間体
難燃剤事業	プラスチック用難燃剤
ヘルスサポート事業	人工透析液用原料及び試薬

3. 当グループは第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期数値の算出は行っておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	計
I 海外売上高(千円)	953,315	953,315
II 連結売上高(千円)		6,119,946
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.6	15.6

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……台湾、中国、韓国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。